

令和6年度「一市町村民会議一運動」活動紹介

下呂市青少年育成市民会議

下呂市では、国・県の青少年健全育成活動に賛同し「大人が変われば子どもも変わる」をスローガンに、市民の意思を一つに活動していこうと、6月8日（土）に、第19回下呂市青少年育成市民会議を開催し、併せて「少年の主張下呂市大会」「地域学校協働活動実践発表」及び下呂市青少年育成顕彰「わかあゆ賞」の授賞式を行いました。

また、12月1日（日）には、青少年の国際的視野や自己表現力の醸成を目的とした「WakuWaku インターナショナルフェア」を開催しました。



地域学校協働活動の実践発表

○ 第19回下呂市青少年育成市民会議

6月8日（土）、萩原町星雲会館において、第19回下呂市青少年育成市民会議を開催しました。

少年の主張では、市内中学校から選出された6名の代表生徒が主張を行いました。最優秀賞は「ひとり歩き」を発表した下呂中学校3年の中島璃子さんが受賞しました。

続いて、地域を知り地域を学ぶ実践として、地域学校協働活動推進員の裁昭人氏が下呂小中学校CSにおける地域学校協働活動の実践「地域の子は地域で育てる～寝屋子学習を通して～」を発表しました。

午前中には、下呂市青少年育成顕彰「わかあゆ賞」の授賞式を行いました。コロナ禍以降、受賞者の紹介のみとしていましたが、今年度より授賞式を復活させ、青少年推進員から直接、表彰状を手渡すことができました。「わかあゆ賞」とは、市内小中学校、高等学校の児童生徒及び市出身の青少年の地域内外での優れた活動を顕彰し、その活動をさらに激励することによって明るい社会の気風を醸成し、青少年の健全育成に資することを目的とした顕彰です。66名1団体が受賞しました。

市民会議には、ジュニアリーダー（市内中高生）が3名参加し、スタッフの一員として、準備や片付け、司会や受付、表彰補助など活動を共に行い会に花を添えました。



主張大会の各校代表者の皆さん



わかあゆ賞授賞式の様子

○ WakuWaku インターナショナルフェア

1 事業の目的

- ① 外国語や異文化について、学生を中心とした市民の興味・関心を高める。【多文化共生社会の実現】
- ② 地域社会が一体となり、体験を通して子どもの成長を支える大人の当事者意識を高める。【市民参画型の青少年育成活動の推進】
- ③ 下呂市中学生海外派遣事業（ペンサコーラ、ケチカンでのホームステイ）への理解を深める。「Think globally, act locally(地球規模で考え、足元から行動せよ)」【グローバル化の機会】



開催チラシ

2 事業概要

日 時 12月1日(日) 午後開催
場 所 下呂市民会館
来場者 小学生、園児とその保護者 82名
協力者 R5年度ペンサコーラ&ケチカン派遣事業参加者
(中学3年生)、下呂市国際交流員、市内ALT、
益田清風高校インターアクト部、市民有志の方
(海外経験が豊富な方など)、日本語交流サロンの
皆さん 60名
担当者 下呂市青少年育成推進員、地域振興課 17名

3 イベント内容

【海外経験豊富な市民によるブース】

地元で英会話スクールを運営する方による「簡単英会話」、イスラエルに渡航経験のある方の「イスラエルの紹介」、元英語教師による「英語でフルーツバスケット」、金山国際交流協会員による「サンタさんに願いを英語で届けよう」と様々な立場の地域の方が参画し、子どもたちの国際感覚や視野を広げ深めました。

【日本語交流サロン参加者によるブース】

下呂市在住の外国人に対して、日本語で交流するサロンを開催しています。そこに参加するインドネシア人4名が自国の遊びを紹介し、子どもたちと交流しました。

【ALTブース】

市内のALTによる「英語で楽しもう」、楽しく学べる英語体験ブースを開きました。

【中学生海外派遣事業活動紹介】

中学3年生の春休みに、約10日間ホームステイの経験をした中学生が、小学生の引率を担うとともに、紹介ブースでは、海外派遣の魅力を伝えました。

【中高生の参画によるブース】

下呂中学生徒会の企画・運営によって、中学校に在籍する外国人生徒と共に、「外国の遊び」を体験しました。益田清風高校インターアクト部は、英語のカードの「カルタ競争」を行いました。また、ジュニアリーダーは「英語絵本の紹介」を行いました。運営側にも子どもたちが参画することで、地域の多様な大人と子どもの関わりが生まれ、体験を通して互いの学びの場となりました。

4 成果と今後

当日の小学生参加者は約82名(保護者を含む)、事業に参画した市民は77名(内、中高生約45名)にもなりました。今年度は、下呂市内の幅広い地域の児童に参加してもらえるように場所を変更して行いました。年度ごとに開催する地域を変えることで、多くの児童に興味をもってもらえると感じました。また、下呂市在住の外国人の参画も実現し、多文化国際交流の場としての一步を踏み出せました。

